

# 非鉄金属

## 片木アルミニウム製作所

### 大山工場の脱脂ライン 洗浄槽など補修

品質、生産性向上

では本社工場の6段階冷間圧延機のモーターの交流化も検討中。「老朽化更新でもあり数年内には実施したい。3億円程度の大きな投資となる」(片木社長)。

片木アルミニウム製作所は1948年設立のアルミ圧延会社。製造拠点は本社工場と大山工場の2拠点で、それぞれ溶解から圧延までの一貫生産体制を持つ。アルミコイル、角板、丸板などを生産している。年商は約30億円。年産量は約7200ト。

は1500万円を投じて、画像処理による傷検出装置を4月に新規導入する。これら設備投資の総額は約1億円。

来期以降の設備投資

では今年8月の夏季休暇時に約3千万円を投じてスリッター設備を移設する。移設するこ

万円をかけて5月の大型連休時に大山工場(鳥取県西伯郡大山町)の脱脂ラインの洗浄槽および電気設備を補修する。品質向上が狙い。さらに大山工場



片木アルミニウム製作所、大山工場

アルミニウム圧延メーカー、片木アルミニウム製作所(本社・大阪府泉南市、社長・片木威氏)は、約5千

2019年2月5日掲載